

「盛岡支社・秋田支社における乗務員基地再編の詳細」に関する申し入れ②

5項 つがる運輸区は乗務員の標準数、行路数も増加することから運転士・車掌の指導担当をそれぞれ1名増やすこと。

組合

- ・指導担当を増やすべきである。
- ・どの断面で標準数を見ていくのか。

会社

- ・標準数はあくまで目安なので、必要な要員は確保する。業務量にて増えることもある。
- ・時々状況をみながらやっていく。

6項 大館運輸区の間内改良について明らかにし、現在の乗務員休憩室については食事スペースとして残すこと。

組合

- ・現時点で示せるものはあるのか。
- ・現在、乗務員が活用しているスペースを利用し、乗務員も休めるようにしたらどうか。
- ・運輸区にあるTIDを、乗泊の中にある他区乗務員休憩室に設置できないか。

会社

- ・まだレイアウト含め確定していないが、輸送の周りの現在内勤者がいる付近を改良し、輸送の方が休憩・食事できるような改良を考えている。
- ・今の計画では別の活用を考えている。信号扱い所なので乗務員の休憩スペースとしては考えていない。
- ・検討し返していく。

7項 大館の信号担当の作業ダイヤを明らかにすること。

組合

- ・どのような作業ダイヤか、始終業の時間がどうなるのか。
- ・現場社員が異常時にも対応できるダイヤを考えて組めるように、早めに作業ダイヤを示していくべき。

会社

- ・考えが固まった段階で示していく。基本列車体系も変わらないので、それほど大きな変化はない。
- ・社員の意見を聞く場を設けていくよう話していく。

8項 ダイヤ改正から津軽線にワンマン列車が導入されるが、4月以降に新入生等不慣れなお客さまが多くなることが予想されることから、乗車指導を4月以降にも行うこと。

組合

- ・3月と4月に乗車指導をおこなうのか。
- ・4月以降も乗車指導はやるのか。
- ・ルートウォチングを出しても、地上設備は盛岡支社管轄であり、どこのことか把握できないということないように。
- ・初めてのワンマンであり乗降多い駅など、簡易券売機は設置する考えはないのか。

会社

- ・対応は盛岡支社が基本だが、3月ダイヤ改正から1週間程度おこなう予定。また弘前運輸区の内勤者に、不安な乗客がいたら声をかけて欲しいとはお願いしている。
- ・盛岡支社には要請している。
- ・わからない把握できないということはない。秋田支社もイメージが出来るよう意識的に津軽線に行っている。
- ・設置する考えは現在ない。

安全・安心して働ける職場を構築 するため検証運動を進めよう!!